

第18回 コスモホール佐久第九演奏会 2018/12/2(日)

12月2日ご一緒できるのを楽しみにしています!

指揮者 石毛 保彦

(いしげ やすひこ)

信州大学医学部卒業。医師として10数年働いたのち、指揮者になる夢を棄てきれず、桐朋学園大学音楽学部へ入学。指揮を黒岩英臣、秋山和慶、飯守泰次郎、高階正光、湯浅勇治(ウィーン国立音大)、バイオリンを徳永二男、大谷康子、山岡耕作、兎束龍夫の各氏に師事する。

桐朋学園大学卒業後、桐朋学園オーケストラアカデミー(指揮専攻)においてさらに研鑽を積む。在学中、学内オーディションにおいて最優秀の成績で選ばれて桐朋学園オーケストラを指揮、またチョン・ミュンフン氏指揮、桐朋学園オーケストラによる歌劇「カルメン」の副指揮者を務める。さらに韓国仁川で開かれた国際指揮ワークショップに参加、チョン・ミュンフン氏のマスターコースで薫陶を受ける。2006年アフィニス音楽祭に指揮研究員として参加。

現在、全国各地のオーケストラの指揮者として活躍している。



ソリスト

ソプラノ 柳澤 萌 (やなぎさわ もえ)



東御市出身。小諸高校音楽科卒業。新潟大学教育人間科学部芸術環境創造課程音楽表現コース卒業。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部33期修了。2013年イタリアのOrviettoにて研修。

2014年長野県伊那文化会館、信州国際音楽村にてオペラ《コジ・ファン・トゥッテ》フィオルディリージ役で出演。新国立劇場オペラシアターで行われた文化庁委託事業のコンサートでは、マリエラ・デヴィアア氏の推薦を受けて出演。2017年上田シティオペラ協会《カルメン》ミカエラ役で出演。「第九」でソリストを務める。現在東京、長野他各地でコンサートを開催、音楽鑑賞会のソリストとして参加。藤原歌劇団団員。

ソプラノ・デヴィアア氏の推薦を受けて出演。2017年上田シティオペラ協会《カルメン》ミカエラ役で出演。「第九」でソリストを務める。現在東京、長野他各地でコンサートを開催、音楽鑑賞会のソリストとして参加。藤原歌劇団団員。

アルト 前島 眞奈美 (まえじま まなみ)



小諸市出身。小諸高校音楽科を経て東京藝術大学を卒業。藝大オペラ第61回定期公演「フィガロの結婚」にて花娘役で出演。J.S.バッハ「ロ短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、W.A.モーツァルト「戴冠ミサ」等のアルトソリストを務める。

声楽を牧野真由美、中島郁子、多田羅迪夫の各氏に師事。

Salicus Kammerchorメンバー。

テノール 井出 司 (いでつかさ)



佐久市出身。昭和音楽大学卒業。同大学院修了。高橋喜久子、的場辰朗、F.Cオーバ、E.ドゥンデコーヴァの各氏に師事。立石信雄奨学金、下八川圭祐基金を得てイタリアに留学。日本クラシックコンクール最高位、イタリア声楽コンクール入選、イタリア・ペーザロ市国際音楽コンクール第3位など多数受賞。「ピーア・デ・トロメイ」ギーノ役でオペラデビュー。「ファルスタッフ」「愛の妙薬」「椿姫」「リゴレット」「オベルト」など様々なオペラの主要キャストで出演。藤原歌劇団では、「ランメルモールのルチア」アルトゥーロ役、「椿姫」ガストン役、「ランスへの旅」ゼフィリーノ役、「スサノオと美琴」アメノタジカラオノカミ役で出演。オラトリオでは「第九」「メサイア」にソリストとして出演。

佐久演奏家協会会員、フォルテサロンメンバー、藤原歌劇団団員。

バリトン 藪内 俊弥 (やぶうち としや)



長野県出身。東京藝術大学卒業。同大学院修了。第12回日仏声楽コンクール第2位入賞。

《藝大メサイア》でデビュー。以降「ヨハネ受難曲」その他様々な宗教曲でソロを務める。

オペラでは、若杉弘の指揮でバイジェット『セビリアの理髪師』、ツインマーマン『軍人たち』(新国立劇場公演)を演じたのをはじめ、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『ラ・ボエーム』マルチエッロ、『カルメン』エスカミーリョ等幅広く演じている。

2011年にはルーマニア国立コンスタンツァ歌劇場『ランメルモールのルチア』のエンリーコでヨーロッパデビュー。また同年中国西安人民劇院、北京人民劇院にて『ドン・ジョヴァンニ』のタイトルロールを演じ好評を博した。二期会会員。

佐久室内オーケストラ

佐久地域を中心に活動しているオーケストラ。1993年に創立以来、毎年10月にコスモホールにて定期演奏会を行っている。永年にわたり原博道先生の指導を受け、東信地域を代表するアマチュアオーケストラとして成長、現在は寺島克彦先生が指導・指揮にあたっている。今年4月のスプリングコンサートでは、Sp.三井清夏さん(小諸高校音楽科出身)、Br.宮本益光さん(二期会会員、日本を代表する若手オペラ歌手)をゲストに招き、モーツァルトのオペラアリア集を共演した。また、10月の定期演奏会では、地元佐久市在住のFg.小林信子さんとコンチェルトの演奏、及びシュトラウスのワルツ集等を演奏し、多くの皆様に喜ばれた。現在団員は50名、職業・年齢も様々なアマチュアプレーヤーが集まり、演奏することを何よりの楽しみとして、週1回の練習に励んでいる。

クラシック音楽を生るオーケストラで聴く素晴らしさをより多くの皆様に体験していただくことにより、その感動を共に味わいながら、地域の音楽文化向上に寄与すべく活動しています。

コスモホール佐久第九合唱団

今年も大勢の初参加者を迎えて7月にスタート。佐久地域を中心に「第九」によって結びつけられた幅広い年齢階層の方々が参加している。合唱も「第九」も初めての方から連続18回目のベテランまで、高校生や親子参加などもあってメンバーは実に多彩。本番での「歓喜、感動!!」を目指して毎週金曜日コスモホールを中心に練習に励んでいる。

「ドイツ語が難しいのでは」「合唱経験がない」などの不安から参加に踏み切れないとの声に添えて、全体練習前に初心者向けの特別レッスンが用意されている。合唱経験のない方もこのレッスンでサポートのベテランの団員とともにじっくり指導を受け、ドイツ語をはじめ合唱の基礎基本を身につけられるようになっている。特別レッスンとフルメンバーによるパート練習、全体練習でしっかり歌い込めば本番は大丈夫!!

初参加者からベテランまで、最高のステージをお届けできるよう努力を重ねています。